

平成 27 年度 喜多方市立塩川小学校 教育ビジョン

みんな キラリ 塩川っ子 ～ 学びをつなぎ 育ちをつなぐ ～

教育目標

自分をみがき、他人とのかかわりを大切にして、たくましく生き抜く児童を育成する。

○ 本気でまなぶ子
(確かな学び)

○ 思いやりのある子
(豊かな心)

○ きたえる子
(たくましい体)

【基本方針】 児童一人一人が、それぞれの「夢」の実現に向け、「豊かな人間性・社会性」「確かな学力」「健康とたくましさ」をバランスよく身に付け、将来にわたって自己実現を図るための選択肢を多くもてるようにしていく。

目指す児童像

自ら学び、考え、表現できる児童

進んで人とのかかわり、豊かな心をもった児童

めあてをもち、ねばり強く心身をきたえる児童

今年度の重点事項

「わかった」「できた」を実感できる授業をつくる。 <学びづくり>

■ 児童の思考を促し、深める授業づくり

- 読解力・表現力の育成
- 確かな教材分析と深い児童理解に基づいた授業づくり
- 学習成果の活用を位置づけた指導

■ 学びの習慣を身に付ける指導

- 「学習の手引き」活用による学び方の指導の工夫
- 自学自習力を育てる家庭学習の工夫（「家庭学習3つの約束」の活用）
- 思考を促し、深めるノート指導

■ 読書活動の充実

- 読み聞かせ交流活動
- 読書の記録（音読・読書カード活用）
- 読書タイム（月・木曜日）

■ 特別支援教育の充実

- 個別教育計画に基づいた指導

人とのかかわり、自他のよさを実感できる集団活動をつくる。 <心づくり>

■ 学級力の育成

- 対人関係スキルの育成
- Q-Uテストを活用した学級経営
- 課題発見・解決力の育成

■ 道徳教育の推進

- 自己の生き方について考えを深める道徳の授業の充実
- 「あいさつ」「そうじ」「くつそろえ」の習慣化
- 喜多方市人づくりの指針「なかよくたくましく生きる」の具現

■ 体験活動・交流活動の充実

- 異学年交流活動の充実
- 気づき・考え・実行するボランティア活動の推進
- 地域活動への積極的参加

体力向上と健康を実感できる機会と場をつくる。 <体づくり>

■ 自律的生活習慣の育成

- 規律ある生活リズムの保持
- 健康についての知識と意識を持たせる指導
- 学校保健委員会による取組み
- メディアコントロール力の育成

■ 日常的な体力づくりの推進

- 体力向上推進計画に基づく実践（特に、持久力、瞬発力、調整力を高める指導の工夫）
- 運動身体づくりプログラムの実施

■ 体の土台をつくる食育の推進

- 栄養教諭と担任、学校と家庭・地域の連携による食育の推進
- 学校給食を通じた具体的指導

■ 安全に行動できる力の育成

- 正しい知識と危機意識を育てる指導
- 家庭・地域・関係団体との連携

学校像

- ◆ 活気と活力に満ちた学校
- ◆ 安全・安心に過ごせる学校
- ◆ 子どもに学びと育ちを保証する学校
- ◆ 保護者・地域が一体となって子どもを育てる学校

教師像

- ◆ 児童を笑う教師でなく、児童と笑う教師
- ◆ 具体的な児童の姿で説明できる教師
- ◆ 自己目標をもち、常に研修に励む教師
- ◆ 高いモラルとコンプライアンス意識を持った教師

保護者・地域の願い

- 思いやりのある子ども
- たくましい体をつくりたい。
- 確かな学力を身に付けた子ども

児童の願い

- 勉強がわかるようになりたい。
- みんなと仲良く、楽しく過ごしたい。
- たくましい体をつくりたい。

時代の要請

- 生きる力の育成
- 21世紀型学力の育成
- 道徳教育の充実
- 国際化への対応

【会津教育事務所 基本理念】

- 豊かな心の育成
- 豊かな体の育成
- 確かな学力の育成
- 地域で学び、共に生きる教育の推進

【喜多方市教育委員会 共通実践（最重要）】

- 学びの実感を高める「授業のまとめ」
- 教育力を持った学級集団づくり
- なかたたくタイム